

防コミの歩き方



多世代が参加できる訓練を目指して

● 橘地区の紹介

橘地区は、JR 神戸駅の北西側に位置し、地域内には、湊川神社や中央体育館、文化ホール、中央図書館、大倉山公園、神戸大学医学部付属病院等があります。

湊川神社、中央体育館で東西に分断されているため市立総合福祉センターを中心拠点として東側を楠ブロック、楠東ブロック、西側を楠西ブロックⅠ、楠西ブロックⅡの4ブロックで活動をしています。

● 主な活動

夏にブロック訓練として放水訓練、1月には総合訓練を行っています。

放水訓練は、以前は大倉山公園内にて防災部会メンバー30名ほどの参加者で実施していましたが、2年前からは地域内の誰でも参加できるように中央体育館北広場に場所を移して実施しています。小さな子供連れのお母さんたちが参加して頂いて55名ほどに増やすことができています。



【夏季放水訓練】

総合訓練については以前、旧湊川多聞小学校でバケツリレー、煙体験、水消火器訓練、粉末消火器訓練、防災ジュニアが参加の放水訓練、

要援護者への声掛け訓練、炊き出し訓練等を単独で実施していました。

2年前からは、東川崎ふれあいのまちづくり協議会防災部会と合同で大倉山公園にて実施していましたが、今年1月は湊翔楠中学校で行いました。あいにくの雨でしたが、体育館をお借りして救急搬送用簡易担架の作成搬送訓練、心肺蘇生法、ロープ結索訓練、運動場で代表者による粉末消火器訓練を実施しました。

参加団体はJICA関西に防災研修の為に来日した6名、地域内に住む外国籍の方9名を含め、橘、東川崎ふれまち他約15団体で総勢228名の広範囲の方々が参加しており今後も継続していきます。



【総合訓練】

● 今後の課題

いかに若い人たちに防災福祉コミュニティを引き継いでいくかが今後の課題だと思います。そのために日頃からみんなで助け合い、支えあえる地域活動や福祉活動に一人でも多くの方に参加して頂けるようにお互いに協力してまいります。

(橘ふれあいのまちづくり協議会防災部会長 山根 剛)